



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月5日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ 上場取引所 東  
 コード番号 7506 URL http://www.houseofrose.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 達彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 哲 TEL 03-5114-5810  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,358	△7.4	95	△47.2	97	△45.3	48	△56.5
2019年3月期第1四半期	3,626	5.0	181	129.9	179	132.7	112	173.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.37	—
2019年3月期第1四半期	23.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,850	5,628	57.1
2019年3月期	9,266	5,676	61.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,628百万円 2019年3月期 5,676百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,150	1.5	680	△5.1	680	△4.7	340	△5.8	72.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,703,063株	2019年3月期	4,703,063株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	592株	2019年3月期	592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,702,471株	2019年3月期1Q	4,702,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の国内景気は、企業収益が全般的に底堅く推移し、緩やかな回復が続きましたが、世界的な通商問題を背景として、輸出を中心に弱さもみられました。一方小売業界では、改元に伴う大型連休やインバウンド需要が一定程度売上に寄与した反面、連休後の反動減及び天候不順等により、後半は総じて盛り上がり欠ける状況となりました。

#### (直営店商品販売事業)

主力であるハウス オブ ローゼ直営店事業につきましては、今期、既存店舗の更なる強化と共に、店舗当たりの客数の増加に取り組んでいます。この数年、店舗収益向上を図るべく不採算店舗の退店を進めており、当四半期末時点の店舗数が前年同期末より14店舗減少したことに加え、天候不順等の影響で期間限定商品が低迷したことなどにより、売上高は前年同期比10.0%の減少となりました。既存店ベースで見ると、専門店店舗では売上高、客数とも前年同期の水準を確保しましたが、百貨店店舗は共に減少となりました。

ネット通販事業は、自社ネット通販においてSNSを活用した新客誘致施策や既存客数増加のための販売促進策に積極的に取り組んだ結果、売上高は前年同期比で27.1%増加し、集客数も着実に伸長しました。他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高23億90百万円(前年同期比9.0%減)となり、売上高の減少とそれに伴う経費比率の上昇により営業損失53百万円(前年同期営業利益6百万円)となりました。

#### (直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、ネット予約システムの稼働率が高まってきたものの、今期に入りスタッフ数が減少、その後採用活動の強化により徐々に持ち直してきましたが、売上高は前年同期比12.1%の減少となりました。

またカーブス事業についても未だスタッフ数は不足気味であり、採用はほぼ順調に推移していますが、育成途上のスタッフが多く、その中で既存会員様に対するフォローに注力することで退会率の低減を図りました。しかしながら退会者数が入会者数を上回り、売上高は前年同期比1.9%減となりました。

以上の結果、当事業売上高は3億47百万円(前年同期比6.9%減)、一方営業利益は、売上原価率の低減及び経費の抑制効果により30百万円(同12.2%増)と増加しました。

#### (卸売販売事業)

店舗向け卸売につきましては、量販店向け卸部門でボディケア化粧品を中心としたMD「リラックスタイム」の導入が拡大、また個人オーナー店舗向け卸部門も着実に伸長し、売上高は両部門合計で前年同期比2.3%の増加となりました。一方、その他の卸売については、中国越境EC卸売が前年同期の売上高の反動減もあり、前年同期比4.6%減となりました。

以上の結果、当事業売上高6億20百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益1億18百万円(同19.3%減)となりました。

以上、当第1四半期における全社売上高は33億58百万円(前年同期比7.4%減)となりました。また営業利益は95百万円(前年同期比47.2%減)、四半期純利益は48百万円(同56.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より5億83百万円増加し、98億50百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より5億74百万円増加し、58億58百万円となりました。これは主に商品が3億92百万円増加、売掛金が2億33百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より9百万円増加し、39億91百万円となりました。これは主に投資その他の資産が19百万円増加、無形固定資産が15百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より6億32百万円増加し、42億22百万円となりました。これは主に電子記録債務が4億35百万円、短期借入金1億50百万円、賞与引当金が1億37百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より48百万円減少し、56億28百万円となりました。これは主に利益剰余金が45百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(2019年5月14日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,399,654	2,368,405
売掛金	1,042,014	1,275,962
商品及び製品	1,817,609	2,209,990
その他	25,383	4,428
貸倒引当金	△416	△510
流動資産合計	5,284,244	5,858,277
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	376,093	373,268
土地	1,369,668	1,369,668
リース資産(純額)	146,754	155,028
有形固定資産合計	1,892,516	1,897,965
無形固定資産	242,817	227,527
投資その他の資産		
差入保証金	605,038	595,731
その他	1,241,681	1,270,829
貸倒引当金	△124	△178
投資その他の資産合計	1,846,594	1,866,382
固定資産合計	3,981,928	3,991,875
資産合計	9,266,172	9,850,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	471,275	483,125
電子記録債務	542,274	977,348
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	208,935	94,685
賞与引当金	192,615	330,259
その他	641,203	647,195
流動負債合計	2,056,303	2,682,614
固定負債		
退職給付引当金	1,129,627	1,148,690
役員退職慰労引当金	66,964	69,174
資産除去債務	10,838	10,847
その他	325,746	310,800
固定負債合計	1,533,176	1,539,513
負債合計	3,589,479	4,222,127
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,338,074	4,292,779
自己株式	△655	△655
株主資本合計	6,554,322	6,509,028
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,304	89,931
土地再評価差額金	△970,933	△970,933
評価・換算差額等合計	△877,629	△881,002
純資産合計	5,676,692	5,628,025
負債純資産合計	9,266,172	9,850,152

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,626,761	3,358,159
売上原価	1,070,714	1,017,363
売上総利益	2,556,046	2,340,795
販売費及び一般管理費	2,374,755	2,245,020
営業利益	181,290	95,775
営業外収益		
受取利息	202	354
受取配当金	1,891	1,178
不動産賃貸料	194	388
その他	1,490	2,082
営業外収益合計	3,778	4,003
営業外費用		
支払利息	1,347	1,718
不動産賃貸原価	119	117
リース解約損	4,437	—
営業外費用合計	5,904	1,835
経常利益	179,165	97,943
税引前四半期純利益	179,165	97,943
法人税、住民税及び事業税	98,927	79,180
法人税等調整額	△31,829	△29,992
法人税等合計	67,098	49,188
四半期純利益	112,067	48,755

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。